

インフォメーションディスプレイ Vol.31



日興コーディアル証券株式会社
リテール事業推進部
店舗業務課長

森田 高司 様

日興コーディアル証券株式会社 様

シティグループの一員として新たな一歩を踏み出した日興コーディアル証券様は、資産形成、資産運用のパートナーとして全国に110店舗を展開。これまでにない価値ある金融サービスを提供する一環として、各支店の店頭で各種金融情報を提供する情報配信システムを導入されました。



所在地・東京都千代田区

経済の動向が一目でわかる。
日常生活と金融市場をつなぐインフォメーション。

PN-465×4台
PN-525×10台
導入

証券会社の店頭の株価ボードが、近頃大型ディスプレイに替わったことにお気づきでしょうか。提供される情報も数字だけでなく、チャート、動画と多彩に広がっています。日興コーディアル証券様も、店頭ショーウィンドウより、株価情報をはじめ、経済指標やニュース速報、金融商品・企業のCMなどを提供しています。

「全110店舗のうち24店で、ショーウィンドウからパブリック向けに最新のマーケット情報を提供しています。広く社会に向けて有用な情報をお届けし、地域経済・生活の向上に貢献することは、私どもの社会的責任であるという考えからです。」

情報提供のポイントは、難解なイメージの金融事情をわかりやすく見せていくこと。「リアルタイムの市況をビジュアルにご案内できるようになった効果は大きいですね。株価の動きもグラフ化すれば一目瞭然。相場のいまを即座に捉えていただけるのです。」

証券会社にとって、生のマーケット情報は不可欠なもの。それをお客様と社会のために活かそうという思いから、よりグラフィカルに生まれ変わった情報の提供ツールとしてインフォメーションディスプレイの導入を決められました。



丸の内にある本店のショーウィンドウ。「PN-465」を4台組み合わせたマルチ画面に、株価情報、ニュース速報、TVCMや今日の占いなど、多彩なコンテンツが表示されている。金融情報ベンダー「QUICK」のコンテンツ配信サービス「VisCast」を利用。

導入時の評価ポイント

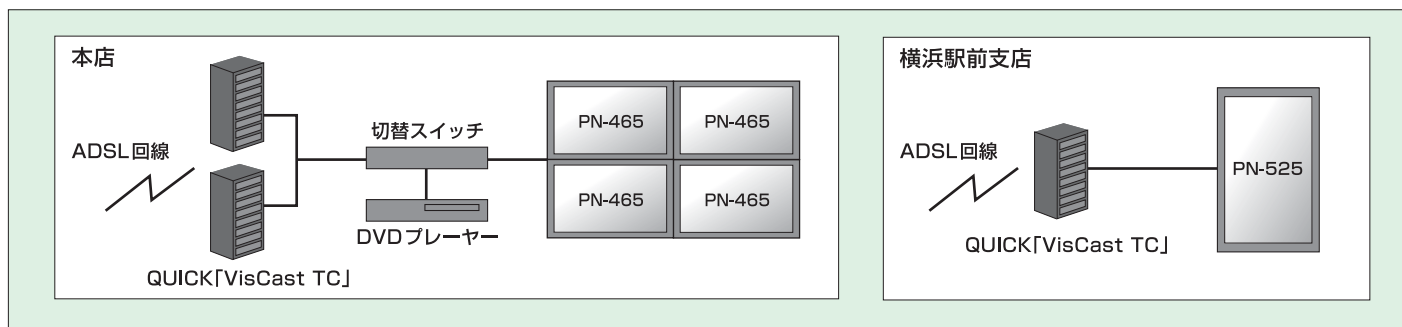
映り込みが少なく見やすい
ASV低反射ブラックTFT液晶

多彩な情報ソースに対応可能な
縦置き・横置き兼用ディスプレイ

温度監視機能も搭載した
24時間フル稼働対応の耐久性

コンテンツのクオリティを活かす
1920X1080画素の高精細大画面

■ システム概略図



導入の経緯

厳しい使用条件をくぐり抜けた
高性能ディスプレイ

外向きのショーウィンドウにディスプレイを導入するにあたっては、高いハードルがありました。

「ショーウィンドウは表示装置にとって厳しい環境。まず、対外光性がネックになります。その点で光の映り込みの大きいディスプレイは選択肢として除外しました。プロジェクタータイプは焦点距離が長く設置場所の確保ができません。最終的には、外光の影響が少ない液晶ディスプレイ、中でも信頼性の高さでシャープのディスプレイに決定しました。」

サイズは、50インチを基準に各支店の設置

スペースに合わせて選択されました。たとえば、本店では『PN-465』を存在感ある4面マルチで、横浜駅前支店では『PN-525』を縦置きに。

「マルチ画面は迫力がありますし、複数のコンテンツを同時に見ただけです。縦型は変則的ですが、情報量の多い一覧型のコンテンツにも違和感なく対応できました。」



縦型ディスプレイはポスターのような使い方もできる。株価の一覧は画面サイズに合わせて変換した。



導入後の感想

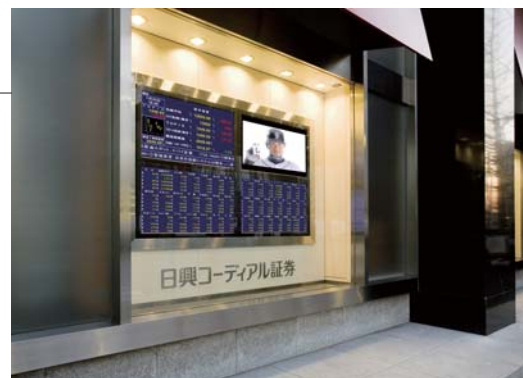
店舗演出にも一役
幅広い導入効果

街が活動している間、常に最新の情報を伝え続けるインフォメーションディスプレイ。価値ある情報を提供し社会とのつながりを深めていく、その目的へ向け、着実に受け入れられているようです。

「難しいと思われがちな金融情報を親しみやすい動画でお伝えすれば、株や為替にさほど興味がない方でも、世の中の動きを

感じ取れます。また、従来のLEDの株価ボードと違ってTVCMやポスターなども一緒にご覧いただけますから、近隣の方々に店を覚えてもらえます。それもまたひとつの効果ですね。」

インフォメーションディスプレイは、お店の顔としても一役かっています。



コンテンツは金融情報の合間にTVCMなどを織り込んで編成。配信はQUICKコンテンツセンターで一括管理されている。

今後の展開予定

動き続ける金融市場の
息づかいまで伝えたい

情報ソリューションは、ネットワーク環境や装置とともに進化していきます。

「いまは支店ごとにオンデマンドでコンテンツを構成していますが、今後、次世代ネットワーク(NGN)がスタートすると、一斉配信も

可能になります。たとえば、本社のスタジオから市況解説をオンタイムでお伝えするなど、コンテンツを広げる構想もあります。近い将来、よりきめ細かくわかりやすい情報発信が実現できると期待しています。」

まずは全店に外向きディスプレイを導入し、コンテンツの充実を。その先には、金融市場や資産運用が誰にとっても身近な存在になる、そんな時代が来ることを期待されています。

●お問い合わせは

シャープ株式会社

情報通信事業本部 ビジネスソリューション事業部
電話：(03)3260-8217 / (0743)55-6373

2008年3月発行